

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 1 月 19 日 (2012.1.19)

【公開番号】特開 2009-149862 (P2009-149862A)

【公開日】平成 21 年 7 月 9 日 (2009.7.9)

【年通号数】公開・登録公報 2009-027

【出願番号】特願 2008-299205 (P2008-299205)

【国際特許分類】

C 0 9 K 21/12 (2006.01)

C 0 7 F 9/30 (2006.01)

C 0 7 C 63/28 (2006.01)

C 0 7 F 5/06 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/5313 (2006.01)

C 0 8 K 3/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 K 21/12

C 0 7 F 9/30

C 0 7 C 63/28

C 0 7 F 5/06

C 0 8 L 101/00

C 0 8 K 5/5313

C 0 8 K 3/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 23 年 11 月 24 日 (2011.11.24)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 3 】

ホスフィン酸源は、次亜リン酸、メチル亜ホスホン酸、エチル亜ホスホン酸、ジエチルホスフィン酸、エチルメチルホスフィン酸、ブチルエチルホスフィン酸、ジブチルホスフィン酸、および / またはビス(ヒドロキシメチル)ホスフィン酸であるのが好ましい。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 7 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 7 7 】

他の適した相乗剤は、ケイ素の酸素化合物、マグネシウム化合物、元素の周期表の第 2 主族の金属の金属炭酸塩、赤リン、および亜鉛化合物および / またはアルミニウム化合物である。これらの中に、取り分け、オルトケイ酸の塩およびエステルおよびそれらの凝縮物、シリケート、ゼオライト、およびシリカ、ガラス粉末、ガラスセラミック粉末、またはセラミック粉末のようなケイ素の酸素化合物；水酸化マグネシウム、ハイドロタルサイト、炭酸マグネシウムまたは炭酸マグネシウムカルシウム；酸化亜鉛、スズ酸亜鉛、ヒドロキシスズ酸亜鉛、リン酸亜鉛、ホウ酸亜鉛、または硫化亜鉛；水酸化アルミニウムまたはリン酸アルミニウムがある。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 4 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 4 3】

例 15

エチルメチルホスフィン酸4.3 g とジアルミニウムトリテレフタレート2.7 gとの均質混合物を、電熱管炉内の磁器ボート中で使用した。乾燥窒素の流れ (30 l/時)下で、混合物を加熱して300 にしそしてこの温度を0.5 時間維持した。生成物の得られた収率は95%であった。アルミニウム含有率は8.8重量% (th. 9.1)であり、およびP 含有率は10.1重量% (th. 10.4%)であり、“アルミニウムモノ(エチルメチルホスフィナート)テレフタレート”の化学量論に一致した。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 1 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1 7】

ホスフィン酸源が、次亜リン酸、メチル亜ホスホン酸、エチル亜ホスホン酸、ジエチルホスフィン酸、エチルメチルホスフィン酸、ブチルエチルホスフィン酸、ジブチルホスフィン酸、および/またはビス(ヒドロキシメチル)ホスフィン酸である、請求項7～16のいずれかーに記載の方法。